



第5回

将来にも役立つマナーは一生もの

ピカピカの子どもの未来が育つまち宗像市。今回は、河東西小学校で2月8日に開かれたマナーキッズテニス教室を取材しました。

問い合わせ先
河東西小学校 ☎(34) 1233

自分も相手も 気持ち良くなるようなあいさつを

この教室は、認定NPO法人マナーキッズプロジェクト福岡支部が主催しています。



子どもたちをしっかりと見つめて話す鈴木先生

子どもは、体力・運動能力の向上を目指す「体育」、あいさつ・礼儀作法の基本的マナーとスポーツマンシップを習得させる「德育」、運動で知性を育む「知育」を考慮してプログラムが組まれています。

「次に正しい姿勢とお辞儀の仕方です。足を閉じて首を伸ばすように立ると腰骨が立ちます。ぐつと姿勢がよくなりまします」と鈴木先生が話す。子どもたちも挑戦。寒さのせいかわ背中が丸くなっていた子どもも姿勢が良くなり、鈴木先生の話が終わると、子ども



大きな声で元気よく鈴木先生にあいさつする子どもたち

スポーツを通じて マナーを楽しく遊ぼう

次に、5・6年生に対してスポーツを通じてマナーを伝えるテニス教室がありました。テニスの指導者はテニス協会のみなさん。グループごとにコートに分かれ、指導者から元気よく自己紹介をしました。自分が打つ順番になったら「よろしくお願ひします」、終わったら「ありがとうございました」と挨拶をします。子どもたちは「マナー教室に参加した5・6年生からは「マナーは難しくつまらな



マナーを学びながらテニスも楽しみました

だんと声が出るようになっていきました。ラリーの練習になると、ラリーが何本続くかの目標も伝えます。最初はなかなかうまく打てなかつた子どもも徐々に上達していきまし



指導者に「ありがとうございました」と感謝の気持ちを伝えます

教室の締めくくりは、使わせてもらった体育館に感謝の気持ちをこめての雑巾がけです。子どもたちは体育館に列に並び、一斉に雑巾をかけました。その後、テニスを指導してくれたテニス協会のみなさん一人一人と握手をし、お礼の言葉を伝え、教室は終了しました。



ありがとうの気持ちを込めて雑巾がけ

校長の原典代先生は「あいさつをする時の子どもたちがとても変わりましたね。ちゃんと立ち止まって『おはようございます』と言ってからお辞儀をして目を見ました。

(ま)

感謝の気持ちを込めて 体育館を清掃

「5・6年生はテニスが好きになったみたいで楽しかったみたいです」と原先生はうれしそう。体を動かすことの楽しさも子どもたちに伝わったようです。

舞台裏

3月末日で広報・報道係を卒業しました。市職員になって21年。広報は初めて希望した部署でした。広報の仕事で一番楽しかったことは、取材でした。たくさんの人とお話をさせていただき、人の思いを感じることができました。おかげで、写真や文章も少しは上手になったと思います。5年間ありがとうございました。新しい場所で元気に頑張ってください。(あ)

(あ)